

第36回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時：平成22年6月15日（火）13時～15時30分
2. 場所：公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、鬼沢委員、小島委員、酒井委員、辰巳委員、
細田委員、米澤委員
4. 議題：①平成21年度事業報告書（案）、平成21年度再資源化預託金等特別会計決算報告書（案）、平成21年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計決算報告書（案）及び平成21年度資金管理料金特別会計決算報告書（案）
②平成21年度の再資源化預託金等の運用評価について
③情報システムの改善策の実施について
④平成21年度離島対策等支援事業の実施結果について
⑤平成21年度の外部業務監査結果について
⑥主な入札結果について

5. 議事概要

※本議事概要では、委員の主な意見及び決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については、後日、議事録を公表する。

(1) 議題①について

平成21年度事業報告書（案）、平成21年度再資源化預託金等特別会計決算報告書（案）、平成21年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計決算報告書（案）及び平成21年度資金管理料金特別会計決算報告書（案）について、事務局から資料3-1から資料3-8までを使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 預託台数・払渡台数・中古車輸出返還台数が急激に増減することがあった場合は、どのような影響があるのか。
- 例えば、払渡台数・中古車輸出返還台数の急増により自動車リサイクル料金の払渡支出・中古車輸出返還支出が急増した場合、その支出は預託済の自動車リサイクル料金の範囲内で賄われ、仮に現預金が不足した場合には保有債券売却をもって不足金を補充することができる。従って、資金繰りに若干の影響は出るが、特に問題はない。新車販売台数の急減によって自動車リサイクル料金の収入が急減した場合も同様である。

(2) 議題②について

平成21年度の再資源化預託金等の運用評価について、事務局から資料4-1及び資料4-2を使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 平成30年度満期償還の保有債券においては「格付け制限あり債券」の比率が高いが、これを引き下げるために「格付け制限あり債券」を売却するのか。売却はリスクを伴うので慎重に行うべきもの。
- 「再資源化預託金等の運用の基本方針」のとおり、売却することはない。
- 債券の満期保有の原則に変更はないか。
- 変更はない。

- 「証券会社別の安全・確実な取引実施の検証」は誰が行っているのか。
- 「平成21年度末における証券会社入替の必要性の検証」と同様に、担当理事を含む12名が行っている。

(3) 議題③について

情報システムの改善策の実施について、事務局から資料5を使用して説明。案のとおり承認された。

(4) 議題④について

平成21年度離島対策等支援事業の実施結果について、事務局から資料6を使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 離島対策支援事業の出えん実績における自治体別台当たり単価の違いについて、以前、何が要因と説明していたか。
- 距離、荷姿等である。
- 離島対策支援事業における中核事業者・核となる人の育成は、市町村から推薦のあった事業者・人を育成したのか。
- 事業者については、離島対策支援事業への参画を呼びかけ承諾いただいた事業者、人については、市町村に推薦いただいた公民館長や自治区長などが対象となる。

(5) 議題⑤について

平成21年度の外部業務監査結果について、事務局から資料7-1から資料7-3までを使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 事務効率の観点から押印すべき書類数や書類への押印数を減らす必要があるのではないか。
- 検討する。

(6) 議題⑥について

主な入札結果について、事務局から資料8を使用して報告。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 今後の入札の情報については、適宜報告してほしい。
- 報告する。

以上